

⑯ 公開実用新案公報 (U)

昭55—98678

① Int. Cl.³
B 62 D 3/12

識別記号

庁内整理番号
7191—3D

④ 公開 昭和55年(1980)7月9日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑤ ラックピニオン型操向装置

④ 実 願 昭53—171009

④ 出 願 昭53(1978)12月12日

⑦ 考 案 者 一瀬正信

桐生市新宿3丁目1番3号

⑦ 出 願 人 株式会社山田製作所

桐生市広沢町1丁目2757

⑥ 実用新案登録請求の範囲

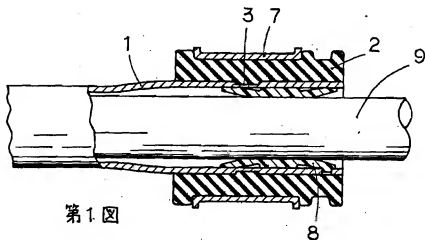
ギヤハウジングの筒状部分1をクツション材2を介して自動車のフレーム等に締付固定したラックピニオン型操向装置において、前記筒状部分1の外周に凹み3, 4, 5又は凸起6を設け、該筒状部分に変形可能な環状クツション材2を圧入嵌合し、該クツション材の外周を包む締付バンド7によつて自動車のフレーム等に締付固定し、この締付力によつてクツション材2の内周を変形させて前記凹み又は凸起に圧接係合させたことを特徴と

するラックピニオン型操向装置。

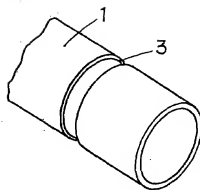
図面の簡単な説明

第1図は本考案一実施例の一部省略断面図、第2図はギヤハウジングの筒状部分の斜視図、第3図及び第4図は変形例の斜視図、第5図は他の実施例の一部省略断面図である。

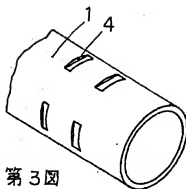
符号の説明、1……ギヤハウジングの筒状部分、2……環状クツション材、3, 4, 5……凹み、6……凸起、7……締付バンド、8……軸受、9……ラックバー。



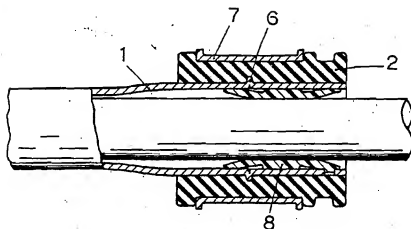
第1図



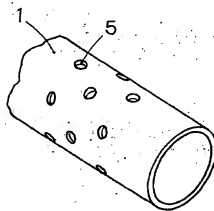
第2図



第3図



第5図



第4図